

○ 委員長報告

9月定例会本会議で報告された総務企画国体委員長報告は、以下のとおりです。

平成29年9月定例会

総務企画国体委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、税収の確保についてであります。

このことについて一部の委員から、税収確保のための本県における取り組み状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本県では、地方局の徴収努力のほか、個人住民税に係る県と市町が連携した徴収対策及び差し押さえを前提とした滞納整理の推進等の税収確保に取り組んでいる。

その結果、本県の28年度の状況は、調定額1,469億225万円に対し、収入額は1,449億6,896万円であり、徴収率は98.68%で、前年度から0.28ポイント上昇し、徴収率の全国順位は、過去最高となった27年度の9位を上回る6位となっている。

また、28年度末の滞納繰越額は、前年度から12.92%減の16億8,833万円であり、過去最高であった14年度の約66億円から約75%、49億円を削減した旨の答弁がありました。

第2点は、愛媛マラソンについてであります。

このことについて一部の委員から、愛媛マラソンは、年々盛り上がりを見せているが、県は今後どのような支援をしていくのか。

また、より多くの参加者を得るための取り組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、愛媛マラソンは、全国的にも高い評価を得る大会に成長し、今年2月に行われた第55回大会では、当日の観客は約20万人、定員1万人のうち県外からは3,000人を超えるランナーに参加いただき、県内経済効果は約4億8,000万円と推計されるなど、地域の振興に大いに寄与するイベントとなっている。

今後は、えひめ国体による県民のスポーツ参加意識などの高まりを継続させ

る、核となるスポーツイベントとして、安全面に配慮しながら更なる魅力向上を図っていく必要があることから、現在策定中のスポーツ推進計画の中に明確に位置づけ、できる限りの支援に努めていきたい。

また、当選者の辞退等に伴い空いた参加者枠について、二次抽選を行うなど、できる限り多くの希望者が参加できるよう配慮をしている旨の答弁がありました。

第3点は、えひめ国体・えひめ大会時の渋滞対策についてであります。

このことについて一部の委員から、開催期間中に予想される交通渋滞への対策の検討が必要と考えるがどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、えひめ国体、えひめ大会には多数の来場があるが、本県の交通事情では車両による輸送に頼らざるを得ない状況である。このため、各会場への参集、離散時に、主要な交差点における交通整理等、県警からのバックアップを得ながら調整を進めている。

また、各警察署は各会場地市町からの相談に適切に応じることとなっており、県としても、県警や市町と連携を取りながら渋滞緩和に努力していきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・財政健全化と重点施策推進との両立
- ・市町の財政健全化に対する県の助言
- ・四国の鉄道ネットワークの維持
- ・移住の促進
- ・渇水によるボート競技等への影響
- ・えひめ国体後のレガシー活用

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。